

専門外来 <睡眠時無呼吸症候群について>

〔火曜日 13:30～15:30、金曜日 9:00～11:00〕

1. こんな症状ありませんか？

睡眠中のいびき、呼吸が止まる、目が覚める、日中の眠気、常に疲労感やだるさ

2. 睡眠時無呼吸症候群とは

睡眠中に何回も無呼吸状態になることで、一時的とはいえ全身が低酸素状態になります。

このため睡眠状態を悪化させるだけでなく、体への負担も大きな病気です。

睡眠時無呼吸症候群を放置すると、無呼吸症候群が引き起こす重篤な合併症を引き起こす可能性があります。

【高血圧、心不全、心筋梗塞、脳梗塞、がん、糖尿病、うつ病、認知症など】

また、日常生活にも支障がでる可能性があります。

・日中の眠気・・・運転中危険です

・集中力の低下・・・仕事もはかどらない

睡眠時無呼吸症候群の方、もしくは疑いのある方は、早めの検査・治療をお勧めします。

3. どんな検査・治療するの？

・アプノモニター(簡易睡眠時呼吸検知装置)による簡易検査

睡眠時無呼吸症候群の疑いのある方の簡易検査となります。

ご自宅で出来る簡易な検査です。

・終夜睡眠ポリグラフィー検査(PSG)

脳波、眼球運動、心電図、呼吸曲線、いびき、血中酸素飽和度などの生体活動を、一晩入院して測定する検査です。これらの情報を組み合わせることで、どのくらい深く眠れているか、呼吸に問題があるか、夜間にどれくらい目が覚めているかといった点を詳細に知ることができます。

検査の結果で治療が必要と判断された場合は、鼻マスク(持続陽圧呼吸療法:CPAP)等の治療方法が検討されます。

上記の様な症状のある方は、ぜひ呼吸器科外来を受診してください。

呼吸器内科の医師が診察します。

※呼吸器科外来は予約制です

栄光病院代表番号(092-935-0147)へ電話し、「呼吸器科外来受診希望です」とお伝え下さい

担当者が対応します

<平日の 13:30～16:30 の時間でご連絡ください>